

ハイキング部だより

第127回

平成26年(2014年)5月11日(日) ～ 黒田官兵衛ゆかりの地を訪ねる

御着駅～御着本陣跡～御着城址～黒田廟所～播磨国分寺跡～旧山陽道～京口公園～姫路城中壕～姫山公園～千姫の小径～好古園～大手門～家老屋敷跡公園～姫路駅(解散)(約12キロ)JR山陽本線または山陽電鉄

参加者 15名

今回2名の初参加がありました。原田さん(柏原市在住)小郷さん(枚方市在住)。小寺政職(まさもと)の御着城では小学生のガイドが一生懸命説明をしてくださいました。とても新鮮でした。御着というのは神功皇后が三韓征伐からの帰りに立ち寄った(御着きになった)という説があるようです。姫路城の様子は完成予定が少し遅れているようで天守閣の一部だけが顔を見せていました。



第127回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 黒田官兵衛ゆかりの地を訪ねる ～

日 時： 平成26年5月11日(日) 午前10時 JR山陽本線「御着駅」集合

コース： 御着駅～御着本陣跡～御着城址～黒田廟所～播磨国分寺跡～旧山陽道～京口公園～姫路城中壕～姫山公園～千姫の小径～好古園～大手門～家老屋敷跡公園～姫路駅(解散)(約12キロ)JRまたは山陽電鉄

今回は、NHK大河ドラマ「軍師 黒田官兵衛」ゆかりの地を歩きます。

天文15(1546)年に御着城主・小寺政職(まさもと)の家老黒田職隆の嫡男として姫路城で生まれた黒田官兵衛は、稀代の軍師として秀吉の播磨平定や中国攻め、四国、九州征伐などを補佐し、天下統一事業を支えたことで知られています。黒田家は関が原合戦の後、筑前52万3千石の藩主となります。

黒田孝高(くろだ よしたか)と言ったが、一般には通称をとった黒田官兵衛(くろだかんべえ)あるいは出家後の号をとった黒田如水(くろだじょすい)として広く知られてる。官兵衛が城主小寺政職にその才能を認められ、側近として仕えた御着城の跡(現在は姫路市役所御着支所が建つ)、官兵衛の祖父黒田重隆、生母明石氏の供養塔がある黒田家廟所そして姫路城まで足を延ばし家老屋敷跡公園などを訪ねます



御着城址



御着城址(城があった場所)



黒田家廟所



黒田家廟所



黒田職隆廟

